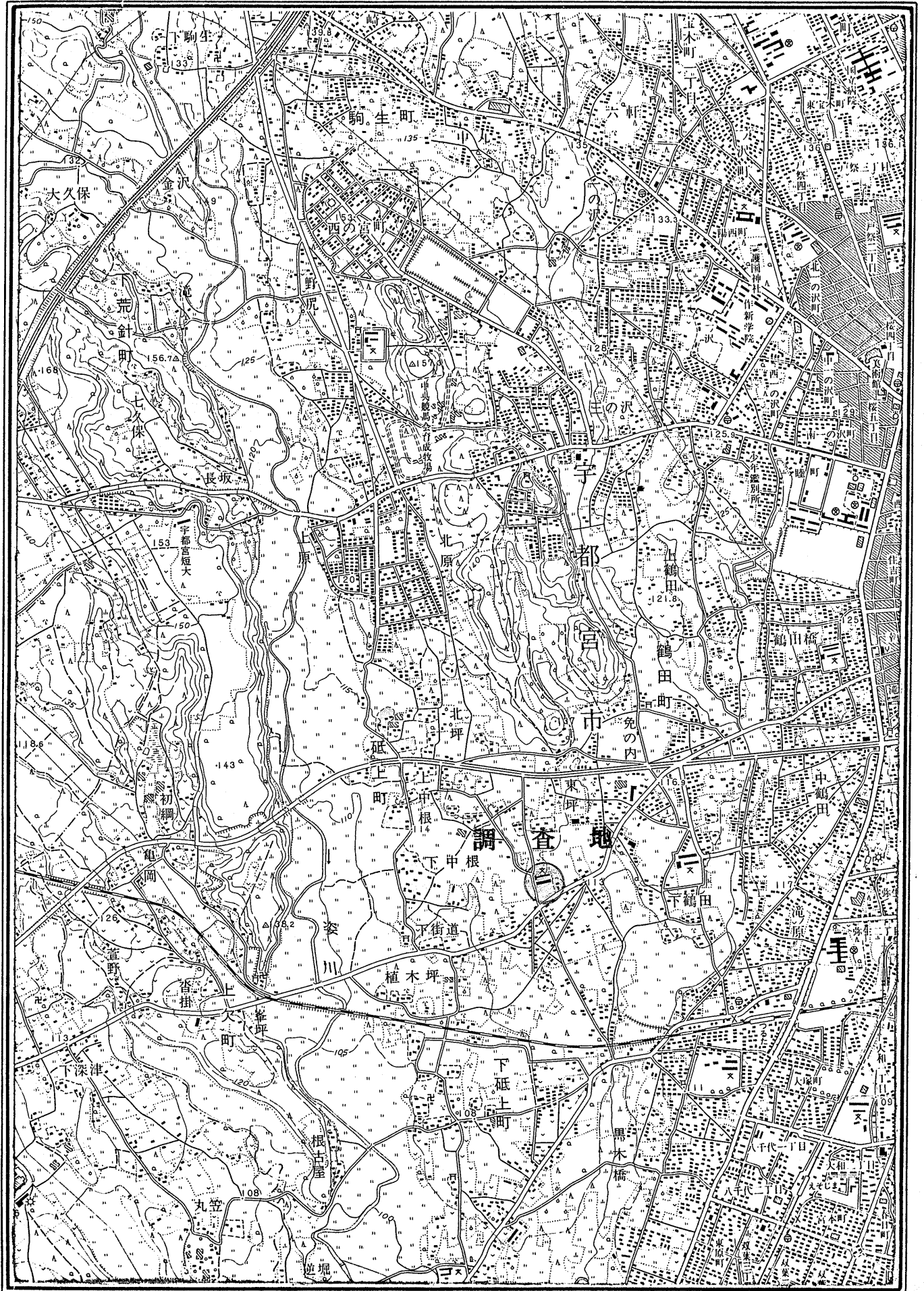
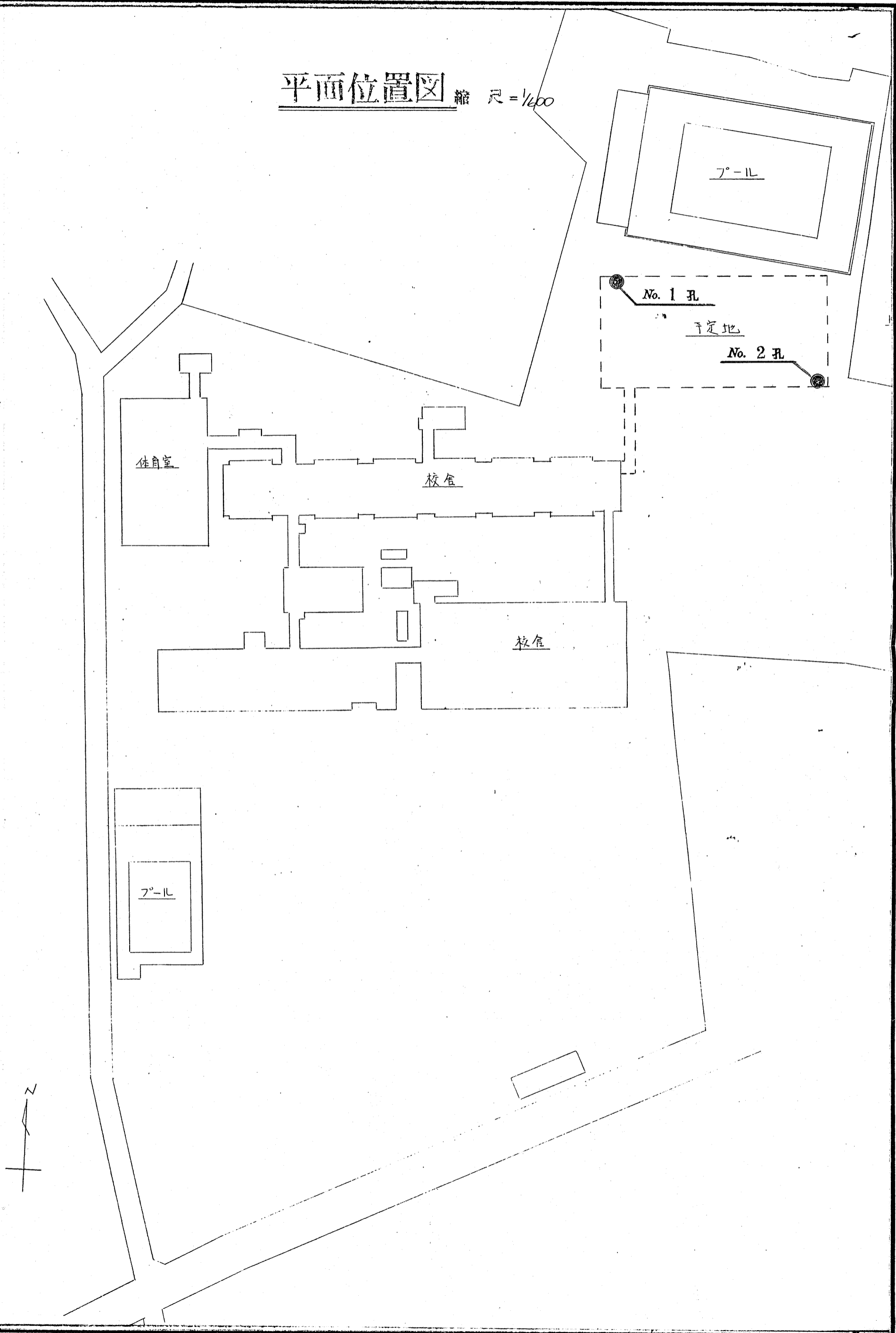
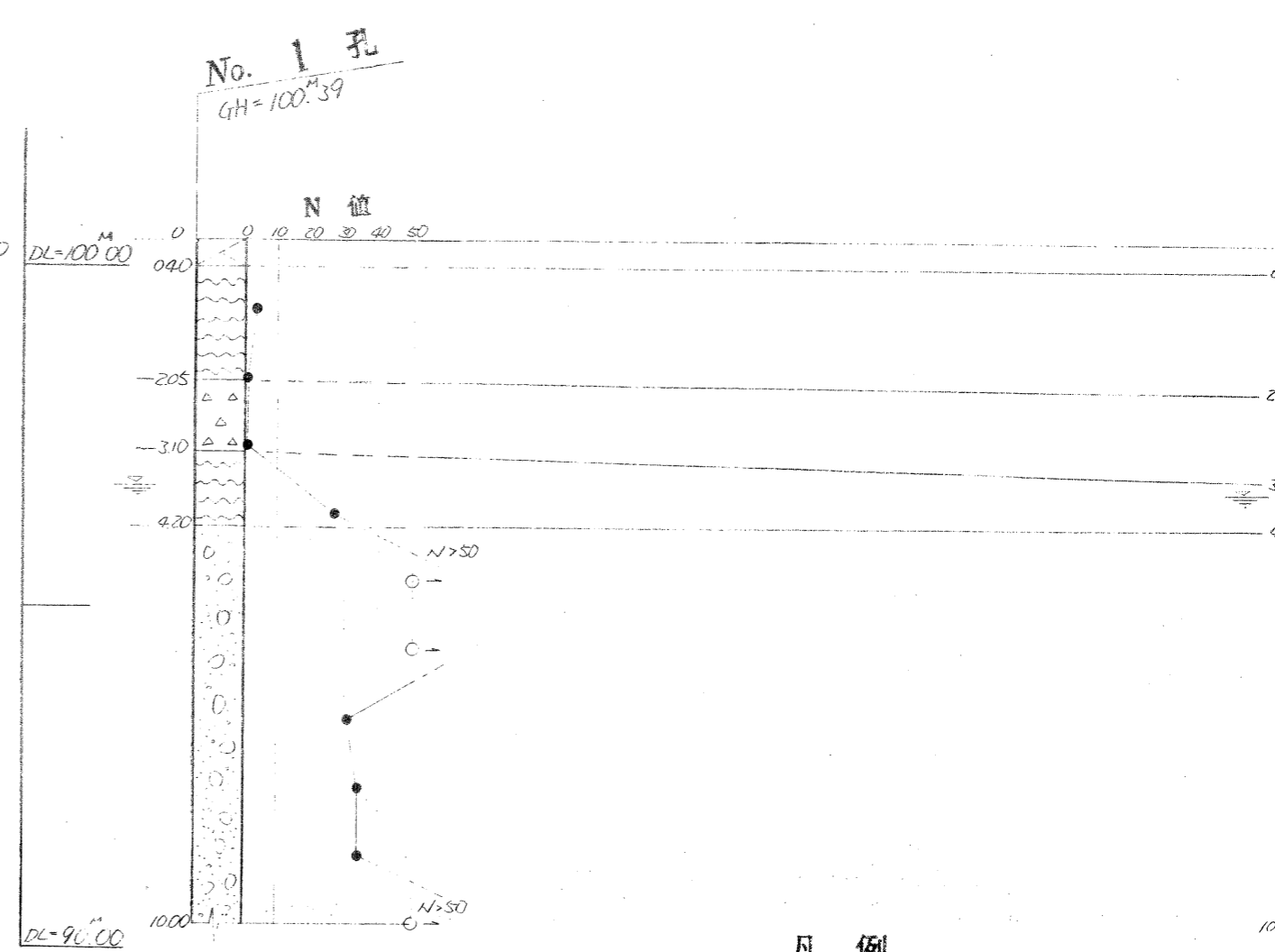
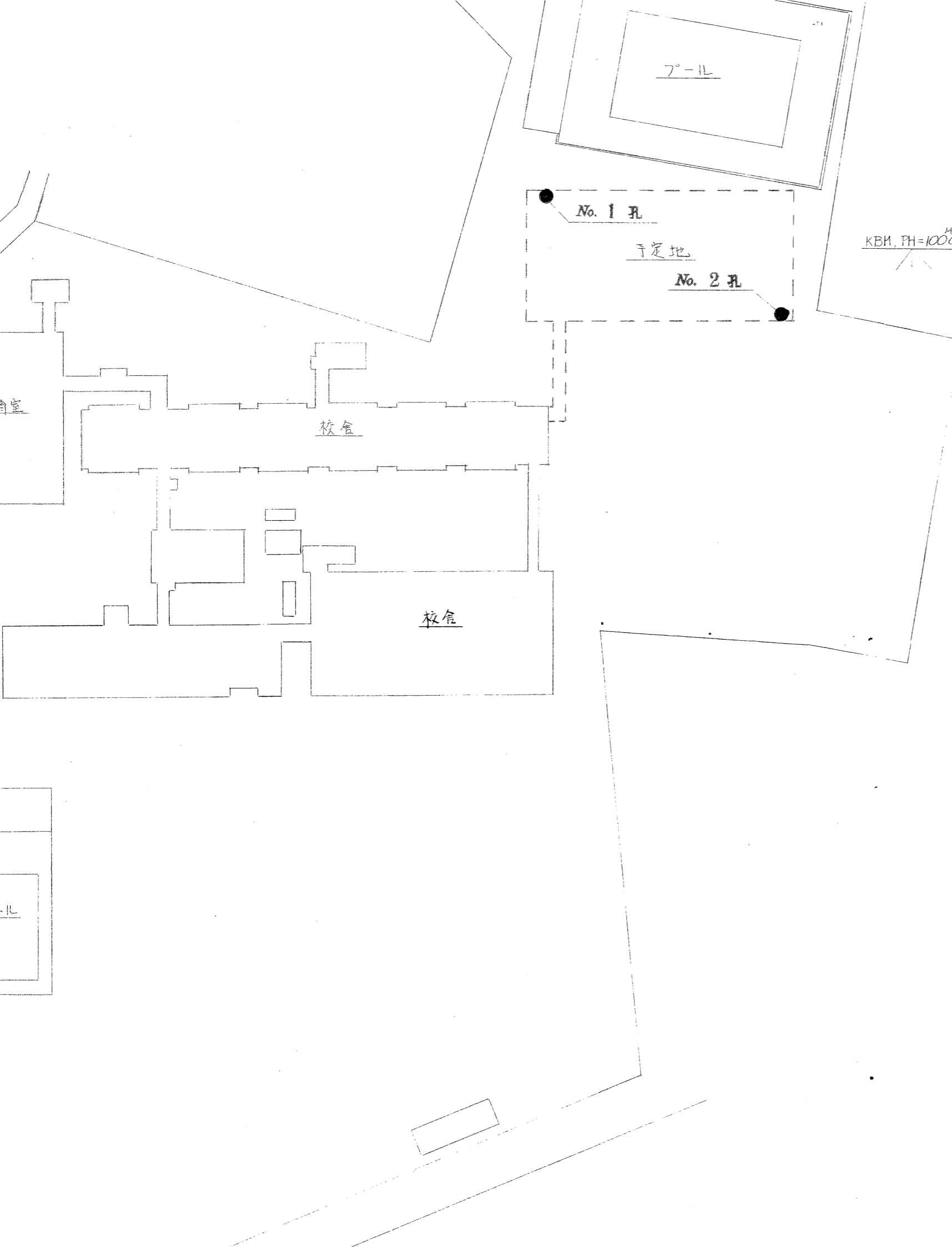


# 調査位置図 縮尺 1:25000



平面位置図 縮尺 = 1/200

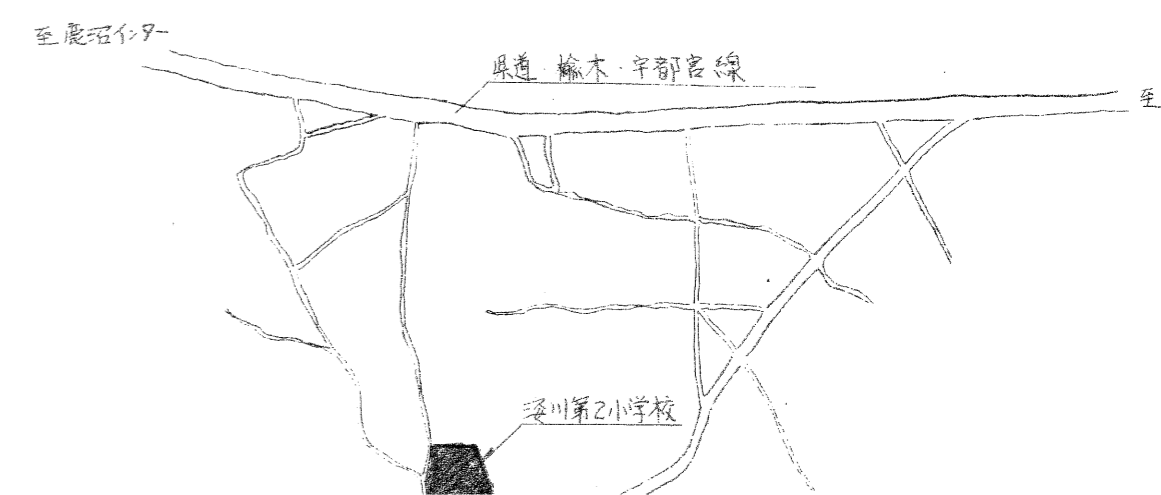




凡例

時代	沖積世		洪積世	
土質名	表土	砂	軽石	砂礫
記号				

案内図



土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調 査 名 姿川第2小学校屋内運動場新築工事 標 高 KBM 100.00 mとする。  
 100.39 m 調査年月日 60年 4月 日～60年 4月20日  
 ボーリング孔：No. 1孔(調査深度1000 m) 孔内水位 GL-3.60 m 調査担当者

標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	現 場 観 察 記 録			標 準 貫 入 試 験						試 料 採 取															
				土 質 記 号	土 質 名	色 調	記 事	深 さ m	打 撃 回 数 / 貫 入 量 cm	10 cm ごと の 打 撃 回 数			N 値						試 料 番 号	深 さ m	採 取 方 法							
										10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50				60						
	9999	040	040	×	表 土	黒 褐	シルト																					
1					ローム	茶 褐	火山灰質粘性土 下部にしたがいやわらかくなる	115	4	1	1	2							1	115	標準貫入試験用サンプラー							
								147	32	11	9	12								147								
2	9834	205	165					215	1	1										2		215						
					軽 石	黄 褐	鹿沼軽石 φ5~10%	271	56	56												271						
3	9729	310	105					315	1	1												3	315					
					ローム	茶 褐	非常にやわらかい 粘土分多い	375	60	60													375					
4	9619	420	110					415	27	6	11	10											4	415				
								445	30	10	10	10												445				
5					砂 礫	暗 灰 褐	礫はφ40~50%が多い マトリックスは粗粒砂が主体 で粘土分を混入する	515	50	15	17	18											5	515				
											544	29	10	10	9												544	
6		580								深度5.8mから色調が変化する	615	50	32	18													6	615
											629	14	10	4													629	
7										深度7.5mから礫φ60~80%を混入	715	31	11	11	9												7	715
											745	30	10	10	10												745	
8							9m付近から礫φ20~50%が多くなる	815	34	12	12	10												8	815			
								845	30	10	10	10													845			
9								915	34	12	12	10													915			
								945	30	10	10	10													945			
10	9039	1000	(58)					1015	50	12	14	24													10	1015		
								1043	28	10	10	8													1043			

備 考 :

試料採取方法の記号

● シンウォールサンプラー ○ 貫入試験用サンプラー × その他

# 土 質 柱 状 図

# 報 告 用 紙

調 査 名 姿川第2小学校屋内運動場新築工事

標 高

KBM 10000 mとする。

100.38 m

調査年月日 60年 4月22日～60年 4月25日

ボーリング孔：No. 2孔 (調査深度1000 m)

孔内水位

GL - 3.65 m

調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現 場 観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験							試 料 採 取						
				土質記号	土質名	色調	記 事	深さ m	打撃回数 貫入量 cm	10 cmごとの 打 撃 回 数			N 値						試料番号	深さ m	採取方法
										10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50			
	9998	040	040	表土	黒 褐	シルト															
1				ローム	茶 褐	火山灰質粘性土	115	4	1	1	2							1	115	標準貫入試験用サンプラー	
							145	30	10	10	10							2	145		
2	9818	220	180				215	3	1	1	1							2	215		
							256	41	10	16	15							3	256		
3				軽石	黄 褐	鹿沼軽石 粒径φ5~10% 粗粒砂を混入	315	1	1									3	315		
	9688	350	130				345	30	30									4	345		
4				ローム	茶 褐	粘土分多い	415	49	10	20	19							4	415		
							445	30	10	10	10							5	445		
5						礫はφ40~50%が多い マトリックスは粗粒砂が主体 で粘土分を混入する	515	32	10	12	10							5	515		
							545	30	10	10	10							6	545		
6						礫径φ100%を混入	615	50	17	30	3							6	615		
							636	21	10	10	1							7	636		
7						8.7m付近から礫はφ10~ 30%が主体	715	40	9	16	15							7	715		
							745	30	10	10	10							8	745		
8						9.3mから礫密集	815	37	14	8	15							8	815		
							845	30	10	10	10							9	845		
9						礫は硬質	915	50	34	16								9	915		
							934	19	10	9								10	934		
10	9038	1000	(58)				1015											10	1015		
11																					

備 考：

試料採取方法の記号

● シンウォールサンプラー    ○ 貫入試験用サンプラー    × その他